

# 新型コロナウイルス下でも公立公的病院の再編強行

## 日本共産党新潟県委員会が医療問題学習会開催

3月28日、長岡市で医療問題学習会が行われました。主催は日本共産党新潟県委員会です。

この学習会では、日本医療総合研究所の研究者、寺尾正之さんが「地域医療を守り、医療に手厚い政治への転換を」と題して講演され、元県議の竹島良子さんが新潟県内の動きを報告してくださいました。

の中で、「改革」の動きが止まっているものだと思ったらとんでもない、厚労省が一昨年の秋に打ち出した公立公的病院の再編対象は426から436にも広がり、新潟県を含む11道県が「重点支援区域」となり、すでに7区域で再編・統廃合方針を確定していることが明らかにされました。新潟県が世論の反発を受けても引き下がらない背景も見えてきました。うかうかできません。

上越地域でも厚労省に後押しされた県の「医療改革」の動きは執拗です。関係者だけでなく地域住民と一体となった「地域医療を守れ」の運動を強めていきたいものです。

### 総務常任委員会、地域協議会制度等で提言へ

総務常任委員会は3月23日、住民自治・地域自治、地域協議会についての所管事務調査を行いました。合併後16年目に入っているなかで、住民自治・地域自治、それに地域協議会制度について、到達点を確認して、今後の方向を定めるのが目的です。

会議では昨年、市が地域協議会委員を対象にアンケートをとった、その結果の報告を受け、議論しました。アンケートには開催時間の変更を求める声や会議の運営に係わる要望などのほか、制度の根幹にかかわる公募公選



【オオカメノキ】(再掲)レンプクソウ科の落葉低木。漢字で「大亀の木」と書きます。別名は「ムシカリ」。葉の形が亀の甲羅に似ています。花は白、開花は4月～6月ですが、今年はもう咲いています。花言葉は「以心伝心」。写真は3月30日、吉川区小苗代にて撮影しました。



残雪が美しい頸城三山

会の方は、市長選の影響があるにせよ、制度の検討はしていく必要があるとして、月に1回は会議をもち、来年の総務常任委員の任期切れまでに提言をまとめていくことを確認しました。

**糸魚川市議選、1つ支援を**

糸魚川市議選が11日に告示されます。日本共産党からは現職のしんぼ峰孝、さとう孝両市議が立候補を予定しています。

新型コロナウイルスの第4波から市民の命を守る、国民健康保険税引き下げなどを政策に掲げる両氏にお力添えをよろしく願います。

### いのちと暮らしを守る2議席



しんぼ 峰孝市議

さとう 孝市議

はしづめ法一の  
活動レポート

**No.2005 2021.4.4**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第六五二回 九七歳の誕生日

母は三月二七日で満九七歳になりました。昨年、心臓病などで三回も入退院を繰り返したこともあって、今回の誕生日を迎えることができたこと、とてもうれしく思います。

正直言って、手術を終えた時、元気に新しい年を迎えることができるだろうか不安でした。それが年を越え、厳しい冬も乗り越えて三月の誕生日に到達できたのです。

母の誕生日の二七日、母がお世話になっている介護施設でも誕生日をしてくださったそうですが、自宅でも誕生日をする準備を進めていました。

自宅での誕生日の会は午後七時からと決めていました。長女がケーキなどを買に行き、私は施設での泊まり(シヨート)を終える母を迎えに行きました。

家に母を連れてきてから、私は別の用事で動いていたのですが、そこへ従姉の家から電話が入りました。長年にわたり、実の母親のように母を大切にしてくれた従姉が「ばあちゃんに会いたい。おれも一緒に仲間に入れて」と言ってきたのです。もちろん、仲間に入ってもらいました。

午後七時前、従姉を乗せて自宅に着くと、母が従姉に「おまん、どうして来たか」と言いました。予想外の展開に少し驚いたのかも知れません。「おまんに会いたかったが」と私が代わりに返事をする。母は「ほっか」と言って納得しました。

午後七時を少しまわってから祝いの会をスタートさせました。最初はケーキです。長女が用意したケーキは、母が希望したという、濃厚でしっとりとしたチョコが入ったガトー・オ・シヨコラです。

赤、緑、黄など五色のロウソクを立てた段階で、私が、「ロウソク、九七本ねがろ。どうするが」と言いました。すると、「一本で十何歳ということにすればいいんじゃない」という声が出て、みんなが笑い

ました。「ハッピーバースデーばあちゃん」の歌を歌い終わったところで、ロウソクの炎を消すのは母の役目です。大きく息を吸って「フー」とやって、消えたのは一本だけでした。でも二回目は残りの四本をすべて消すことができ、家族や従姉から

「おーっ」という驚きの声が上がりました。弱そうに見えても、母には息を吹きかけてロウソクを消す力がありました。

ケーキを食べ終わったところで、私が事前に聞いていなかったことが行われました。母へのプレゼント贈呈です。

「はい、ばあちゃんにプレゼント……」

「なに、パンか」

「違っ」

「ほしや、靴下か」

「違っ」

そう言っって長女が袋の中から出したものは母が愛用している頭にかぶるネットでした。母は「こりや、いいもんくんたね」と言っって大喜びしました。そして、まだ続きがありました。

「ばあちゃん、まだ入っているよ。手、入んてみない」

「なに、まだあるが。あら、ホワホワしてる。ネコか」

母の周りにいたみんなが、「高級の、いいもんもらったね」「かわいいね」「きれいだね」などと言い、「思いがけない贈呈式」が最高に盛り上がりました。

この日はイチゴ、「越後姫」も用意されていました。甘さは抜群、大きさもイチゴの中では最大級です。誰かが、「これ高いんだよね」と言ったら、一度手をひっこめた者もいましたが、最後は手を伸ばして、「ああ美味しかった」。

こうして母の九七歳の誕生日は無事終わりました。ここまで来たら、次の目標は九八歳の誕生日です。家族みんなで応援したいと思えます。

## 要援護世帯除雪費助成の見直し検討、改めて表明

### 常任委員会審査の中から

### 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。  
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月24日(水)	3月31日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.057	0.047
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.053	0.050
名立分遣所	0.057	0.053
高士分遣所	0.047	0.050

3月5日の厚生常任委員会審査。要援護世帯除雪費助成事業について、委員から、「多雪地帯とそうでない地帯の区分と助成限度額について、検証、見直しをしてはどうか」と質問がありました。

市の担当者は、「各世帯で除雪にどれだけの費用が発生しているか、昨年も今年も調査を行っている。建物の形状や敷地の広さなど条件が異なり難しいが、見直しについて検討を進めたい」と答弁していました。生活支援ハウス運営費では、「安

塚かたくりの家がこの4月から休止の予定とあるが、安塚の方で入所の希望があった場合は、どういうところがあるか」と質問が出ました。

担当者は、「近く的生活支援ハウスや市営住宅などを代替施設として御利用いただければと思う。また、例えば、都会に出た子供から、自分の親が冬場に何日かどこかで暮らせればというような相談があった場合にも、いくつかの手段をお示しできるようにすることが必要だ」と答弁しました。

## 健康診査の予約制、改善へ

3月8日の厚生常任委員会において、市民健康診査事業が取り上げられました。

委員から、「昨年はコロナ禍で、1日の健診数を絞り、完全予約制となったが、受診希望日の2週間前にならないと予約できず、予約で埋まっていた場合は改めて予約しなければならなかった。今後どのように改善するのか」という質問が出され

ました。

これに対し市の担当者は、「昨年はすぐに予約が埋まってしまい、ご不便をおかけした。次年度は、期限を切らずに予約が取れるようにしたい。上越医師会館でも窓口を設けるほか、インターネット予約など、いろいろな方法で予約が取りやすくなるよう工夫していきたいと考えている」と答弁しました。